



平成 28 年 1 月 28 日

広島大学大学院文学研究科

2016 リテラ芸術鑑賞会「バレンタイン狂言会」

広島大学大学院文学研究科では、社会連携事業の一環として、下記のとおり「2016 リテラ芸術鑑賞会」を開催いたします。

これまで「リテラコンサート」という形で開催してきましたが、今回はさらにさまざまな芸術・文学に親しんでもらうため、「狂言」の鑑賞会を企画しました。京都から「茂山千五郎家」をお招きし、バレンタインデーにちなんで男女の仲をテーマにした狂言を上演いたします。

身近な題材を通して「古典」に触れるとともに、上演前には本研究科の教員によるミニ講義も準備していますので、子どもから大人まで幅広い世代の方々にお越しいただきたく思います。皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

記

【日 時】 2 月 14 日（日）14：00～16：30（13：30 開場）

【会 場】 東広島市市民文化センター アザレアホール
（東広島市西条西本町 28 番 6 号 サンスクエア東広島 3 階）

【プログラム】

第 1 部：ミニ講義「入試に役立つ（かもしれない）古典の言葉」

〔講師〕妹尾 好信（広島大学大学院文学研究科 教授）

第 2 部：バレンタイン狂言会「御茶の水」「濯ぎ川」

〔出演〕茂山千五郎家 <https://www.soja.gr.jp/>

【主 催】 広島大学大学院文学研究科

【後 援】 東広島市教育委員会

【入場料】 無 料

※会場の都合上、10 名以上の団体（高校・クラブ等）で参加される場合は、事前にメールでお問い合わせください。どなたでもご参加いただけますが、事前連絡のあった団体を優先させていただくことがあります。

【お問い合わせ先】

広島大学文学研究科支援室 難波 さゆり
TEL: 082-424-6604
E-mail: bunkoho@hiroshima-u.ac.jp

バレンタイン 狂言会



プログラム

第1部 ミニ講義

「入試に役立つ(かもしれない)古典の言葉」

講師: 妹尾 好信 (広島大学大学院文学研究科 教授)

古典の言葉はとっつきにくいと思うかもしれませんが、でも、狂言の言葉を耳にすると、古典語と現代語がつながっていることがわかります。本日上演の狂言を題材に、言葉の変化について考えてみましょう。

第2部 バレンタイン狂言会

出演: 茂山千五郎家

「御茶の水」

見習い坊主と門前の娘の、微笑ましい? 恋物語。二人でお茶の水を汲みながら、楽しい時間を過ごしていると、帰りが遅いのを心配した住職が・・・。

「濯ぎ川」

嫁と姑に毎日用事を言いつけられる、気の弱い男。あまりの仕打ちに、男はささやかな「逆襲」を試みるのですが・・・。

日時

2016. 2/14(日)

13:30 開場 14:00 開演
(終了予定時刻16:30)

場所

東広島市市民文化センター
アザレアホール
(サンスクエア東広島3階)

入場
無料

ホールの収容人数の都合上、10名以上の団体(高校・クラブ等)で参加される場合は、事前にメールでお問い合わせください。どなたでもご参加いただけますが、事前連絡のあった団体を優先させていただくことがあります。

狂言とは、室町時代に「能」とともに形成された滑稽な芝居。いわば、室町時代の“新喜劇”です。茂山千五郎家は江戸初期から、京都在住の狂言師の家として歴史に残っています。現在も十三代目の当主・千五郎を中心として、四百年にわたり京都に息づいてきた狂言の普及・継承に努め、自主公演はもちろん、各地の舞台・学校での公演も精力的に行っています。